



JGT-TOUR “Green Park 360” 開催要項

開催日：平成27年6月28日＊ゲートオープン時刻 7：00

＊雨天決行 台風など荒天は中止

メインレース：JGT Enduro 6時間耐久レース 対象クラス：LMP1, LMP2, JGT3

予選一回を行い、1周のファーストラップにてスターティンググリッド決定後、ローリングスタートにて耐久レースをスタートします。予選終了後～決勝スタートまで、車への変更は加えられません。（オフィシャルにて車輛保管致します）6時間の周回レースにて、総合順位を決定致します。全クラス同時予選、同時決勝です。

表彰対象：総合優勝、総合二位、総合三位、LMP2クラス優勝、JGT3クラス優勝

チーム構成：

Enduro参加チームは2～4人で1チームとします。

＊アシスタントのみの参加者の場合、申請が必要です。アシスタントには参加費用は掛かりません。

＊アシスタントは複数のアシスタントを兼務しても構いません。

＊アシスタントが居る場合は、その方を含めてチーム定員内としてください。（4人ドライバー+アシスタント1名はNGです）

車輛スペックは各参加クラスの車輛レギュレーションに準ずる。



レース中のルールなどetc

- 1.一人当たりの連続走行時間は最大1時間を目安とします。
- 2.使用出来る動力用充電器は1チーム1台又は1系統のみ。送信機用又は受信機用などの予備電池用充電器は別途用意して頂いても可能ですが、必ず分けて使用出来る環境にあるのが条件です。
- 3.充電電流は、LF2200、A123の場合、最大8.8Aまで
その他全てのバッテリーは最大2Cまでの充電電流で行う。
Lipoの最大電圧=4.20v/cell LiFe,A123の最大電圧=3.70v/cell
- 4.コースマーシャルは配置致しませんので、救済が必要な場合は、必ずチーム員が行う。
- 5.セーフティカー導入時、指示が無い限りセーフティカーを追い越さない。
- 6.チーム間でコミュニケーションが取れる無線通信システムがあると便利です。過去に、携帯電話やトランシーバーを使用しているチームがございました。
- 7.危険ですので、コース内でのマシン修復は禁止です。また、コース復帰は必ずピットロードよりコースインしてください。
- 8.大声や罵声は謹んで下さい。目立つ場合は、ペナルティとなります。



車輛レギュレーション (LMP1 : 赤ゼッケン)

1. ボディ:各社から発売されている1/10Cカー又はLMPボディ *リアウイングが別体の仕様に限る。全高は105mm以下。

*TRG製 ロイスボディは使用可能です。

**カラーリングは実車ライクが望ましい。

使用できるリアウイングサイズ:

ウイング最高点-ウイング最下点=20mm以下 最大幅はボディ幅まで

注: ウイングステー、サイドダムは計測対象としない。

ヘッドライト左右一对 (透明、イエローなど)、テールランプ一对 (赤) を装着。レース中は常時点灯可能な状態とする。

カーゼッケンを左右に1枚ずつ、フロントに1枚指定の場所に貼ること。カーゼッケンは主催者で用意する。ゼッケンのサイズは43mmX43mmです。

2. 車両規則 (シャーシ)

- 後輪駆動又は4輪駆動1/10スケール電動オンロードカーを使用してください。
- 最低重量制限なし
- ディメンションは規定致しませんが、ボディに収まる全幅、見た目に遜色ない範囲でのホイールベースと致します。
- ゴム、スポンジ素材問わず、1/10用オンロードタイヤを使用する事。
- グリップ剤は使用禁止。
- ブラシ、ブラシレス問わず540サイズモーターを使用する。モーターシャフト径は3.17mm仕様の物に限る。
- 市販のESCのみ使用可能。バック走行設定可能です。

- ルールに準じたバッテリーを1本のみ搭載可能。

- 使用出来るバッテリーの仕様一覧:

2セルLIPO (バッテリーサイズ問わず) 40C以上の場合、3600mahまで。

2セルLIPO(バッテリーサイズ問わず) 40C未満の場合、3800mahまで。

1セルLIPO 7200mahまで。

2セルLiFe 4200mahまで。



2セル A123 4600mahまで。

6セルニッケル水素 3800mahまで。

5セルニッケル水素 4200mahまで。

上記のスペックのバッテリーはレース中合計**3本**まで用意出来る。

タミヤ、アレックス、ワールドドローームLF2200バッテリーは**4本**まで用意出来る。

以上の条件をメーカーラベルで確認出来る製品のみ使用出来ます。

注意：違う仕様のバッテリーを混ぜて使用するのは禁止。

(40c未満の2セルリポ2本、40c以上の2セルリポ一本はNG。3400の40c未満2セルリポ2本、3800mah40c未満の2セルリポ一本はOK。LiFeとLIPOを混ぜて使うのもNG)

- 動力電源に加え、別途ライト類、BEC、AMB、冷却装置を駆動させる予備電源バッテリーを1個搭載可能です。予備電源は配線経路を確認させて頂く場合があります。
- ステアリング補助装置、ジャイロ、テレメトリーの搭載はOKです。
- LF2200バッテリー使用のみクイックバッテリーチェンジシステムの使用を認める。

クイックバッテリーチェンジシステムとは、バッテリー脱着する為、固定テープ類、2箇所未満のネジ、ナット又はピン類を使用、又はそれらを使用せずバッテリーを搭載出来るシステムの事を指します。LF2200以外のバッテリーを使用する場合、**バッテリー固定はマジックテープ、グラステープ、ゴムバンド、2箇所以上のねじ止めもしくはピン止めを使用しバッテリーを固定するようにして下さい。**



<禁止事項とLMP1専用ルール>

1. スペアのボディ、シャシーの用意は禁止です。車検を受けたマシン、ボディのみで最後まで戦ってください。
2. 追加ルール1：LMP1クラスにタイヤ交換を義務付けます。
 - ・参加車輛の使用するタイヤ又はホイールには、走行中に左右が識別出来る彩色、目立つマーキングを準備願います。車検の際にレースで使用するタイヤは全て提示頂く事になります。シール等張り替えが可能な物はマーキングとしては利用出来ません。
 - ・レース進行中、2時間毎に、オフィシャルにてタイヤ交換実施の有無を確認致します。確認方法は、進行方向に対して左側のマーキングや彩色が変更したか？を確認します。交換は前後ともお願い致します。

重要：オフィシャルはマーキング彩色の変化しか見ませんので、左右だけ入れ替える行為でもオッケーです。

- ・タイヤ交換に一切の電動工具又は、クイックチェンジシステムの導入を禁止致します。ホイールナットの締め付けはレンチ、ドライバーなど手動工具をご利用下さい。
- ・万が一ホイールやタイヤが破損して交換が必要な場合は、必ずその時間帯に適用されたマーキング色をお守り下さい。ですので、同条件のマーキングを施したスペアタイヤセットをご用意頂く事になります。
- ・タイヤ交換未実施を指摘された場合、オレンジボールを対象車輛に発動します。オレンジボールは絶対厳守ですので、ご注意願います。長期にわたるオレンジボール無視は、ペナルティの対象です。



車輛レギュレーション (LMP2：青ゼッケン)

1. ボディ：タミヤ SP-1265 クラージュ LC70ボディのワンメイク。

**カラーリングは実車ライクが望ましい。

使用できるリアウイングサイズ：

ウイング最高点－ウイング最下点＝20mm以下 最大幅はボディ幅まで

注：ウイングステー、サイドダムは計測対象としない。

ヘッドライト左右一对（透明、イエローなど）、テールランプ一对（赤）を装着。レース中は常時点灯可能な状態とする。

カーゼッケンを左右に1枚ずつ、フロントに1枚指定の場所に貼ること。カーゼッケンは主催者で用意する。ゼッケンのサイズは43mmX43mmです。

2. 車両規則 (シャーシ)

- 後輪駆動又は4輪駆動1/10スケール電動オンロードカーを使用してください。

参加し易いシャーシ例：

- Tamiya F103+F104ナローFサス+F104タイヤホイール
- 4WDツーリングカー（低いボディが搭載可能か？確認が必要）
- F103GT+ツーリングカーホイール
- 最低重量制限なし
- ディメンションは規定致しませんが、公認ボディに収まる全幅、見た目に遜色ない範囲でのホイールベースと致します。
- 1/10用オンロードゴムタイヤを使用すること。
- グリップ剤使用禁止
- ブラシ、ブラシレス問わず540サイズモーターを使用する。モーターシャフト径は3.17mm仕様の物に限る。
- 市販のESCのみ使用可能。バック走行設定可能です。
- ルールに準じたバッテリーを1本のみ搭載可能。
- 使用出来るバッテリーの仕様一覧：

2セルLIPO (バッテリーサイズ問わず) 40C以上の場合、3600mahまで。

2セルLIPO(バッテリーサイズ問わず) 40C未満の場合、3800mahまで。



1セルLIPO 7200mahまで。

2セルLiFe 4200mahまで。

2セル A123 4600mahまで。

6セルニッケル水素 3800mahまで。

5セルニッケル水素 4200mahまで。

上記のスペックのバッテリーはレース中合計**3本**まで用意出来る。

タミヤ、アレックス、ワールドドローム LF2200バッテリーは**4本**まで用意出来る。

以上の条件をメーカーラベルで確認出来る製品のみ使用出来ます。

注意：違う仕様のバッテリーを混ぜて使用するのは禁止。

(40c未満の2セルリポ2本、40c以上の2セルリポ一本はNG。3400の40c未満2セルリポ2本、3800mah40c未満の2セルリポ一本はOK。LiFeとLIPOを混ぜて使うのもNG)

- 動力電源に加え、別途ライト類、B E C、AMB、冷却装置を駆動させる予備電源バッテリーを1個搭載可能です。予備電源は配線経路を確認させて頂く場合があります。
- ステアリング補助装置、ジャイロ、テレメトリーの搭載はOKです。
- LF2200のみクイックバッテリーチェンジシステムの使用を認める。

クイックバッテリーチェンジシステムとは、バッテリー脱着する為、固定テープ類、2箇所未満のネジ、ナット又はピン類を使用、又はそれらを使用せずバッテリーを搭載出来るシステムの事を指します。LF2200以外のバッテリーを使用する場合、**バッテリー固定はマジックテープ、グラステープ、ゴムバンド、2箇所以上のねじ止めもしくはピン止めを使用しバッテリーを固定するようにして下さい。**



<禁止事項とLMP2専用ルール>

- スペアのボディ、シャシーの用意は禁止です。車検を受けたマシン、ボディのみで最後まで戦ってください。
- LMP2専用ルール：ピットインの時間を規制します。1ピットインの最低時間は2分とします。

理由：主には2名参加を視野に入れて設定しました。最低ピットイン時間をもうける事で、操縦台からのドライバー交替や、人不足によるピット作業の円滑化を狙い、より多くの方に少数でもご参加頂ける様に設定致します。

1. 対象クラス参加者には、参加時にストップウォッチ、タイマーなど計測装置を貸し出します。
2. ピットストップの最低時間は2分間です。この時間は毎回のピットインに適用されます。
3. 時間計測は、チームパートナーがピットレーンで車に手をかけた時点から計測となります。計測には立ち会いが必要ですので、ピットエリアに居る参加者に声を掛けて、必ず計測の立ち会いをお願いします。ピット所要時間が2分未満の場合、立ち会い者の2分経過の合図を待つ必要がありません。

<オウンカールール>

自分の走行時間は自分の車で...

それがオウンカールールです。一つのトランスポンダーをバトンタッチしながら、レースを戦います。レギュレーションに準じていれば、カラーリング、シャシーなどチームで統一する必要はありません。

1. 参加にはエントリー時に、申告が必要です。（オウンカーで参加です！と）
2. オウンカールールで参加のチームは、ドライバー全員が自分所有のお車をお持ちである事が条件です。
3. ルール上、LF2200バッテリー以外の使用での、4人チームは組めません。
4. 2人でチームを組む場合でも、チーム単位で使用出来るバッテリー本数はルール通りです。



車輛レギュレーション (JGT3：緑ゼッケン)

1. ボディ：JGT3クラス参加車両はJGTツアー公認のボディのみ使用可能とします。公認ボディリストはホームページにてご確認ください。ボディは必ずカットライン厳守をお願い致します。(ホイールアーチは除く)

- ・実車ライクなカラーリングを推奨いたします。実在するものに制限はしていませんので、お好みのスポンサーカラーをモチーフにするなどして“自慢の1台”を完成してください。
- ・フロントヘッドライト1対以上、テールライト1対以上を必ず装着させてください。
- ・必ずGTウイングを装着してください。ストレート、バナナタイプ形状は問いません。サイズはボディ幅を最大値とし、ウイングがルーフ高を超えない高さまでマウント可能です。オーバーハングに規制はありませんので、後ろにせり出しても構いません。ウイングのコード計測は、ウイング最高点-最下点が20mm以下とします。特殊な測り方なのでご注意ください。但し、サイドダムは計測対象になりませんし、サイズの規制もありません。カッコイイ形状の物を左右1枚ずつウイングに直接貼りつける事。
- ・ホイールはリアルなルックスの製品使用を推奨いたします。
- ・エアロダイナミクスパーツは取り入れて頂いて結構です。カーボン製パーツは危険ですので、鋭利な形状の物は先端を丸めるなど対策を行ってください。ボディディメンションより+10mmの範囲で追加装着可能です。
例1：190mmのボディに対し、左右+5mmのオーバーフェンダ
例2：フロントリップ追加10mm延長

ダメな例：そのボディで実在しないシャークフィン追加、GTウイング以外のリアスポイラー追加

- ・その他ドアミラー、マフラーなどジャンジャン取り付け下さい
- ヘッドライト左右一対(透明、イエローなど)、テールランプ一対(赤)を装着。レース中は常時点灯可能な状態とする。
- カーゼッケンを左右に1枚ずつ、フロントに1枚指定の場所に貼ること。カーゼッケンは主催者で用意する。ゼッケンのサイズは43mmX43mmです。

2. 車両規則 (シャーシ)

- 後輪駆動又は4輪駆動1/10スケール電動オンロードカーを使用してください。
- ゴム、スポンジ素材問わず、1/10用オンロードタイヤを使用する事。



- グリップ剤使用禁止
- 最低重量制限なし
- ディメンションは規定致しませんが、公認ボディに収まる全幅、見た目に遜色ない範囲でのホイールベースと致します。
- 1 / 10用オンロードゴムタイヤを使用すること。
- ブラシ、ブラシレス問わず540サイズモーターを使用する。モーターシャフト径は3.17mm仕様の物に限る。
- 市販のESCのみ使用可能。バック走行設定可能です。
- ルールに準じたバッテリーを1本のみ搭載可能。
- 使用出来るバッテリーの仕様一覧:

2セルLIPO (バッテリーサイズ問わず) 40C以上の場合、3600mahまで。

2セルLIPO(バッテリーサイズ問わず) 40C未満の場合、3800mahまで。

1セルLIPO 7200mahまで。

2セルLiFe 4200mahまで。

2セル A123 4600mahまで。

6セルニッケル水素 3800mahまで。

5セルニッケル水素 4200mahまで。

上記のスペックのバッテリーはレース中合計**3本**まで用意出来る。

タミヤ、アレックス、ワールドドローーム LF2200バッテリーは**4本**まで用意出来る。

以上の条件をメーカーラベルで確認出来る製品のみ使用出来ます。

注意：違う仕様のバッテリーを混ぜて使用するのは禁止。

(40c未満の2セルリポ2本、40c以上の2セルリポ一本はNG。3400の40c未満2セルリポ2本、3800mah40c未満の2セルリポ一本はOK。LiFeとLIPOを混ぜて使うのもNG)

- 動力電源に加え、別途ライト類、BEC、AMB、冷却装置を駆動させる予備電源バッテリーを1個搭載可能です。予備電源は配線経路を確認させて頂く場合があります。
- ステアリング補助装置、ジャイロ、テレメトリーの搭載はOKです。
- LF2200のみクイックバッテリーチェンジシステムの使用を認める。

クイックバッテリーチェンジシステムとは、バッテリー脱着する為、固定テープ類、2箇所未満のネジ、ナット又はピン類を使用、又はそれらを使用せずバッテリーを搭載出来るシステムの事を指します。LF2200以外のバッテリーを使用する場合、**バッテリー固定はマジックテープ、グラステープ、ゴムバンド、2箇所以上のねじ止めもしくはピン止めを使用しバッテリーを固定するようにして下さい。**



<禁止事項とJGT3専用ルール>

- ・スペアのボディ、シャシーの用意は禁止です。車検を受けたマシン、ボディのみで最後まで戦ってください。
- ・JGT3専用ルール：ピットインの時間を規制します。1ピットインの最低時間は2分とします。

理由：主には2名参加を視野に入れて設定しました。最低ピットイン時間をもうける事で、操縦台からのドライバー交替や、人不足によるピット作業の円滑化を狙い、より多くの方に少数でもご参加頂ける様に設定致します。

1. 対象クラス参加者には、参加時にストップウォッチ、タイマーなど計測装置を貸し出します。
2. ピットストップの最低時間は2分間です。この時間は毎回のピットインに適用されます。
3. 時間計測は、チームパートナーがピットレーンで車に手をかけた時点から計測となります。計測には立ち会いが必要ですので、ピットエリアに居る参加者に声を掛けて、必ず計測の立ち会いをお願いしてください。ピット所要時間が2分未満の場合、立ち会い者の2分経過の合図を待つ必要が有ります。

<オウナールール>

自分の走行時間は自分の車で...

それがオウナールールです。一つのトランスポンダーをボタンタッチしながら、レースを戦います。レギュレーションに準じていれば、カラーリング、シャシーなどチームで統一する必要はありません。

- ・参加にはエントリー時に、申告が必要です。（オウナールールで参加です！と）
- ・オウナールールで参加のチームは、ドライバー全員が自分所有のお車をお持ちである事が条件です。
- ・ルール上、LF2200バッテリー以外の使用での、4人チームは組めません。
- ・2人でチームを組む場合でも、チーム単位で使用出来るバッテリー本数はルール通りです。